

各 位

令和元年 8 月 1 5 日
山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3
電話 023-634-4120

山形市野草園からのお知らせ



立秋 「七草の庭」に咲くオミナエシ キキョウとカワラナデシコとの競演

オミナエシ(スイカズラ科)

日当たりのよい山野に生える多年草で、草丈が80~120cmです。葉は対生し羽状に分裂し裂片は狭く、尖ります。茎は上部で枝分かかれし、黄色の小さい花を多数つけます。秋の七草として有名な植物です。種子で増えるのはもちろん、地下茎を横に伸ばして増える栄養繁殖もします。そのために黄色い花がしばしば群生しています。満開になると独特な匂いがします。

立秋を迎えた野草園。「七草の庭」には、秋の七草である黄色のオミナエシ、青紫色のキキョウ、ピンク色のカワラナデシコの花が沢山咲き、鮮やかな三つの色に包まれた秋の花園になっています。

立秋とはいえ真夏日が続く毎日ですが、野草園は標高550mほどあり、市街地より気温が3~4度低いので街中よりは過ごしやすくなっています。蔵王の風が吹き抜ける木陰をたどり、湿地の木道を抜け、「七草の庭」に足を運んでみませんか。

蝉の鳴き声の響く木陰のベンチに座りながら、咲き始めた秋の七草を楽しんでみませんか。そんな非日常のひと時が、私たちの心を豊かにしてくれます。

8月のイベント

【開園時間の延長】 9:00～18:00まで開園（6月1日～8月31日）
入園は17:00まで。

【写真コンテスト作品募集】 9/1（日）～9/20（金）
詳細はホームページをご覧ください。

◆【ガイドウォーキング】

- 日 時 8/18（日）、25（日）、9/1（日）
1回目 10:00～11:00、2回目 11:00～12:00、3回目 13:00～14:00、4回目 14:00～15:00
- 内 容 ボランティアガイドと一緒に園内を散策。申し込み不要。参加費は入園料のみ。

◆【フリーズフードフラワー教室】

- 日 時 8/31（土） 10:00～12:00
- 場 所 自然学習センター ピロティ
- 講 師 フラワースクールピュア 多田葉津恵 氏
- 内 容 長期間保存できるように加工したベニバナやアジサイなどを使ったアレンジ
- 対 象 先着20名 ○参加費 2,700円（入園料・材料代込、高校生以下2,400円）
- 申込み 電話で野草園まで：Tel 023-634-4120

◆【東北南3県ボタニカルアート作品展】

- 日 時 9/1（日）～9/23（月：祝日） 9:00～16:30
※9/1は13:00から、9/23は15:00まで
- 場 所 自然学習センター
- 内 容 ボタニカルアート愛好者の作品を展示 ※9/15 展示入替あり

◆【市制施行130周年記念 お山フェス】 9/1（日） 10:00～15:00

- 内 容 コンサート・マルシェ・体験コーナーなどの開催
*プレゼント抽選券付き前売入園券（300円）販売中
「販売場所」野草園、紅の蔵、テルサ、ジャバ、山形市都市振興公社（市役所11階）

《お山マルシェ》

- 時 間 10:00～15:00 ○場 所 野草の丘
- 飲食SHOP

里山虹と森のカフェ（焼きそば・タピオカドリンク） ドーナツ小屋maaru（揚げドーナツ）
miging café（ナポリタン） 石屋（中華そば） カフェヒマラヤ（ネパールカレー）
酒田ラーメン花鳥風月（海老ワンタンメン） こめやかた（米粉クレープ）
紅山水（なめこそば・玉こんにゃく） アジアン屋台ニ科尔食堂（アジアンフード）
hibicafe（ハワイ風グラノーラ）

〇クラフトSHOP

風の呼（まめ苔(盆景)・石地藏） プロットリコエムズ（布小物・編み物）
消しゴムはんこや@お山（虫博士とコラボ！タンブラー作り）
MiSyu（ビーズアクセサリー）

《お山コンサート》

〇時間 11:00~15:00 〇場所 中央広場
〇出演者 丹波恵子（ギターなど） うたかた（ギターなど） NAO（ギターなど）
山崎隆史（口琴） Members from MMC（ギター・ベース・キーボード・カホンなど）
半田 massive（ドラム・ベース・パーカッションなど）

《体験コーナー》

大自然お山ヨガ（インストラクター 佐藤藍氏） 10:00~10:50
虫博士と遊ぼう 10:00~12:00 13:00~15:00
健康ウォーキング講座 10:30~12:00（事前申込 先着20名様）
〇申込み 電話で野草園まで：Tel 023-634-4120

◆◆◆8月後半に見られる主な花たち◆◆◆



キキョウ（キキョウ科）

日当たりの良い山地や野原などに生える多年草です。葉は長卵形で先は尖り、縁には鋸歯があります。茎の上部に青紫色の鐘形5裂の花を開きます。根は太く黄白色をしており薬用とされています。秋の七草でいうアサガオはキキョウのことだといわれています。



カワラナデシコ（ナデシコ科）

各地の山野に生える多年草です。葉は対生し、線形または披針形で基部は茎を少し抱きます。花茎の先に咲く淡紅紫色の花は優美です。秋の七草のひとつに数えられていますが、7月に咲き始めます。河原のような日当たりの良い所に生え、可憐な花の様子を撫子に例えたことが名の由来です。



フシグロセンノウ（ナデシコ科）

山地に生える多年草です。茎の節は太く、紫黒色を帯びています。葉は対生し、卵形または楕円状披針形で先はとがり、縁に毛があります。茎頂に橙色の花を開きます。花弁は5個で倒卵形です。仙翁とは京都嵯峨にある寺の名で、そこで栽培した花と似ていて、節が黒いことが名の由来です。



ヒオウギ (アヤメ科)

山地の原野に生える多年草です。観賞用としても栽培されています。葉は広い剣状で扇形に並び、多少白っぽく見えます。夏に茎が何度も枝分かかれし、枝の端に有柄の花をつけます。花被片は6個で水平に開き、楕円状でへら形、黄赤色で内側に濃い暗紅点が多数あります。葉の並び方が楡扇に似ていることが名の由来です。



レンゲショウマ (キンポウゲ科)

本州の太平洋側などの深山に生える多年草で、日本固有種です。葉は大形で2~4回3出複葉で、小葉は卵形です。茎の上部に淡紫色の花をまばらに下向きにつけます。花の外側は花弁状の萼片で、内側にある花弁は先が紫色をしています。花がハスに、葉がサラシナショウマに似ていることが名の由来です。



ツリフネソウ (ツリフネソウ科)

水辺に群生する1年草で、茎は赤みを帯び節はふくらみます。草丈は50cm程度で、茎の先に数個の花をつり下げます。花は紅紫色で、距は著しく後ろに突きでて渦巻き状になります。果実は熟すと果皮が裂けて種子を飛ばします。花器の釣船を下げたように見えることが名の由来です。



ハナトラノオ (シソ科)

北アメリカのバージニア州原産で大正時代に渡来したピンク色の花です。吸蜜昆虫が多く集まる花で、アゲハチョウの仲間も多く飛来します。草丈は40~120cm、四方に突き出すように花がつき、花穂が四角錐のようになるので別名「カクトラノオ」とも呼ばれます。



ツリガネニンジン (キキョウ科)

日当たりの良い山野の草地に生える多年草です。葉は楕円形で、3~4枚輪生します。高さ1m程の茎の上部に淡紫色の釣鐘形の花を数個、輪生に釣り下げます。萼は細くて、雌しべが花から突き出ています。大きな根は薬用に利用されます。花の姿を釣鐘に、大きな根を朝鮮人参に例えたことが名の由来です。



カリガネソウ(シソ科)

山地や原野に生える多年草です。近くによると臭気があります。茎の断面は四角形で、葉は鋸歯のある広卵形で対生します。葉腋から長い柄を持つ集散花序を出して、紫色の唇形花をまばらに付けます。雄しべ、花柱ともに長くて、花冠から飛び出すのが特徴です。花の形が雁(かり)の姿に似ることが名の由来です。



ユウガギク(キク科)

近畿地方以北に生育し湿地やあぜに多い多年草で、高さ1~1.5mです。花は直径3~3.5cmの白色の舌状花と黄色の筒状花からなり、総苞は長さ5~6mmで冠毛は1mmです。いろいろあるヨメナ属の野菊の中では一番先に咲き始めます。「柚香菊」ですが、実際はあまり香らないようです。



マルバハギ(マメ科)

日当たりの良い山地に生える落葉低木です。葉は3出複葉で小葉は先は丸く、楕円形または倒卵形です。紅紫色の旗弁、濃紫色の翼弁、淡紅紫色の竜骨弁をもった蝶形花が密集して開きます。仲間のヤマハギとは、花序が葉よりも短かく、萼片が針状にとがり、翼弁が竜骨弁より長いことによって区別できます。



オトコエシ(スイカズラ科)

山野に生える多年草で、茎に毛が多いようです。葉は対生し、多くは羽状に分裂、裂片は卵状長楕円形になります。茎の上部に小さい白花を散房状に多数つけます。果実は倒卵形でまわりが翼状になります。オミナエシに対して、茎が太く毛があり強剛に見えることが名の由来です。



センニチコウ(ヒユ科)

古く日本に入ってきた園芸用の草花で、庭園に植えられています。熱帯地方原産の1年草です。茎の先に長い花茎をだし、その先に1個の球状の花をつけます。花は色のついた翼のある2個の小苞に包まれた多数の小花からできていて、小花は普通紅色ですがまれに淡紅色、または白いものがあります。花期が非常に長いことが名の由来です。



ノカンゾウ (ススキノキ科)

田のあぜや溝のふちなど、やや湿ったところに多い多年草です。葉は長く広線形です。葉の間から70~90cmの花茎を出して、上向きに花をつけます。1日花で橙赤色の花が昼間だけ咲くようです。花被片は6個でほとんど同形で長楕円形、上部の方だけ反り返って咲きます。



ワレモコウ (バラ科)

山野に普通に生える多年草で、葉は互生し長柄があり、奇数羽状複葉です。小葉は5~13枚で長楕円形です。花は楕円形で、上から下へと開花します。花は花弁がなく4個の萼片が花弁のように見えます。萼片は暗紫色で雄しべは4個で葯は黒く萼片より短いようです。名は紋所のモコウからきたものといわれています。



フジバカマ (キク科)

奈良時代に中国から渡来し、本州の関東地方以西、四国、九州などに野生する多年草です。葉は短い柄があって対生し、長楕円形~長楕円状披針形でふつう3深裂します。頭花は淡紅紫色で5個の筒状花があり、それが散房状にたくさんついています。秋の七草のひとつですが、野生は少なくなっています。



アケボノソウ (リンドウ科)

山野の湿り気のあるところに生える2年草で、茎は直立して枝分かれます。葉は対生し、形は披針形です。合弁花ですが、白い花は深く5裂し、ほとんど離弁花に見えます。裂片には黄緑色の蜜腺溝が2個と黒紫色の斑点が多数あります。花の色を明け方の空に見立て、斑点模様を夜明けの星々に見立てたことが「曙草」の名の由来です。



サラシナショウマ (キンポウゲ科)

落葉樹林内や草原などに生える多年草です。茎の先に総状花序を出し、柄のある白い小さな花を密につけます。花には両生花と雄花があり、萼片は楕円形で早落します。名は晒菜升麻で、若葉をゆでて水でさらして食べることでよります。根茎は肥大し、乾かしたものは生薬の升麻で解毒・解熱剤などになります。